

トランス脂肪酸に関する新聞報道について

平成 27 年 7 月 2 日

米国食品医薬品局（FDA）がトランス脂肪酸の使用を禁止すると、新聞等で報道されていますが、これは正確な報道ではありません。 本件について、以下のとおり情報をお伝えします。

1. トランス脂肪酸は、油脂の加工工程で生じるものと牛などの反芻動物の乳や肉に含まれる天然由来のものがあります。

2. 米国食品医薬品局（FDA）は、トランス脂肪酸が多く含まれる部分水素添加油脂（マーガリン等の原料）は、GRAS（従来から使われており安全が確認されている物質）ではないとして、2018 年以降も食品に使用するためには FDA の承認が新たに必要と決定しました。従って、トランス脂肪酸は承認されれば、使用可能です。

3. 日本と米国では脂肪やトランス脂肪酸の摂取量には大きな差があります。
アメリカ：2.2%、日本：0.3%（トランス脂肪酸の平均摂取量・エネルギー比）
WHO では、心血管系疾患のリスクを低減し、健康を増進するための目標として、トランス脂肪酸の摂取を総エネルギー比 1%未満に抑えるよう提示しており、大多数の日本国民の摂取量は、WHO の目標を下回っています。

4. 食品安全委員会、農林水産省が新たな情報を出していますので、ご参照下さい。

○食品に含まれるトランス脂肪酸の食品健康影響評価の状況について（食品安全委員会・平成 27 年 6 月 19 日） http://www.fsc.go.jp/osirase/trans_fat.html

○トランス脂肪酸に関する情報（農林水産省・平成 27 年 6 月 24 日）
http://www.maff.go.jp/j/syouan/seisaku/trans_fat/